医療法人平和会

ひさまつクリニック （平成25年2月14日開院）

在宅療養支援診療所（外来は予約のみ）
標榜科：リハビリテーション科、内科

平和会訪問看護ステーション（平成26年8月開設）

医師1名（非常勤医師2名） 看護師7名
PT4名　OT2名　ST2名　MSW3.5名　事務5名

所在地：鹿児島市上之園町
鹿児島中央駅から徒歩10分

在宅医療≒リハビリテーション医療

☆在宅医療：在宅生活を支える医療

☆リハビリテーション医療：生活をみる医療

- ICF:国際生活機能分類

機能・構造の障害、活動制限、参加制約などの『生活のしにくさ』に対して他（多）職種との協働によるチームとして取り組んでいく。

「在宅医療＝看取り」 ではない

- 『逝き方』は『生き方』
- 『死に様』は『生き様』
- 『どのような死に方をするのか』は『どのような生き方をするのか』

- リハビリテーション医療は生活を支え、生きる時を活かす医療。看取り対応は、患者・家族が在宅でより良く生きるために行われるリハビリ医療の過程の一部であり結果である。

まとめ

- 患者の生活をより良いものにするためなら何でも利用するというリハビリ医療のスタンスが在宅医療には必須。
- 在宅医療はリハビリ医療そのものであり、在宅医療にもっとも向いている医師はリハビリ科医である。
- チーム医療のスキルを身に付けているリハビリ科医は、院外のスタッフとも上手に連携がとれる。
- 看取り対応は特別なことでなく、患者家族を共に支え続けるリハビリ科医としての基本姿勢が活かされる。